

令和5年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典 戦没者追悼・平和祈念のことば

本日ここに飯塚市長様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席をたまり、出雲市戦没者追悼・平和記念式典が行われるにあたり、出雲市遺族会を代表いたしまして、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

歳月の流れは早いもので、日本が終戦を迎え78年が過ぎようとしています。苛烈を極めた戦いにおいて、愛する家族を案じつつも遠い異国の地などで、我が国で310万人、出雲市において、6,244人も尊い命を祖国のために捧げました。

平穏であった家庭も一瞬にして一家の大きな支えをなくし、最愛の肉親を失った悲しみにたえながら、私たち戦没者家族は助け合い、長く険しい道乗り越えてきました。

時は過ぎ、あれから78年が経過した今日、我が国は世界有数の経済大国となり、平和と自由を享受できる国家となりました。これも、国の運命をかけた戦いにおいて、戦地で散った多くの戦没者の犠牲の上に築かれたものであることを、私たちは決して忘れてはなりません。

いま世界では、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や核・ミサイル実験など、国際平和を脅かす出来事が相次いで起こっています。こうしたなか今年5月広島で開催されたG7サミットでは、各国の首脳が平和祈念資料館を訪問する姿や原爆死没者慰霊碑への献花や黙とうをささげる映像が世界中に発信されておりました。私もこの映像を見ながら、この広島での光景が、戦争がない世界恒久平和の実現に向けた大きな一歩になるものと、強い期待感と希望を持ったところでございます。

私たち遺族会は、戦後の混乱期から今日まで、戦没者の慰霊顕彰と遺族の援護促進のために力を合わせ懸命に生きてまいりました。戦争の惨禍が再び繰り返されないため、二度と我々のような戦没者家族を出さないためにも、戦争の悲惨さや、命の尊さ・平和の尊さを万世にわたり語り継ぐとともに、英霊の顕彰と組織の維持に努めることが、今を生きる私たちの使命だと思っております。

終わりにあたりまして、本日ここにご英霊のご冥福とご参列の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに、出雲市戦没者追悼・平和祈念式典を開催していただきましたことに深く感謝を申しあげ、追悼のことばといたします。

令和5年8月11日 出雲市遺族会 会長 山代 裕始